

教えてください “地域のお宝” あなたのまちの

地域のお宝とは？

地域での支え合い活動は、人と人がつながることから始まります。

日常生活の中で当たり前だと思っている住民同士の営みが、気にかけて関係
を育み、支え合う基盤につながっています。そのような身近な支え合い活動を
「地域のお宝」と呼びます。

(特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター HPより引用)

あなたの地域では、どんな支え合いやつながりづくりが行われているのでしょうか？



毎年、地区の
お祭りがあり、
みんなで盛り
上げているよ。



友人と毎日散歩して
体力づくりを
しています。



小学生の登下校の
見守りを
しているよ。



しめ縄づくりを
通して
地域の文化を
伝えています。



地域みんなで
協力をして
喫茶店を
開いているの。

その他、
・花壇の花植え
・ご近所さんのおすそ分け
・友人とお茶のみ 等
これらは大切な地域のお宝です。
「自分達の地域でもこんなことをして
いるよ。」と、お話をきかせてください！



お互いさまでつながる笑顔

つくろう つなごう あたたかいまち

地域支え合い推進員が皆さんの地域へお邪魔します！地域のお宝を教えてください！

電話：0739-72-5611 みなべ町社会福祉協議会 はあと館 芝447-2)

これからどうなっていくの？みなべ町

— みなべ町は高齢化が進んでいます —



●毎年、200人を超えるペースで人口が減少しています。

●現在、3人に1人が65歳以上の高齢者です。

●昭和の頃は、4人で1人の高齢者を支えていましたが、現在は、1.7人で1人を支えています。



今後、今の状況が続けば、高齢者1人を支える現役世代の人数がより減っていきます。また、高齢者世帯や一人暮らし世帯も増えていき、「買い物に行きたいが移動手段がない」「電球を交換したいが身近に頼れる人がいない」等、普通の暮らしの様々な困りごとが出てくると予想されます。

身近な支え愛の輪を、広げていきましょう。

皆で集まる
居場所づくり

健康づくりは仲間と
一緒に効果的



<グランドゴルフ>

できることで
助け合い

「お互いさま」で
安心を広げましょう



<電球交換>

ゆるやかな
見守り

ご近所さんを
ちょっと気にかけて



<郵便物や新聞>



<通いの場>



<ゴミ出し>



<あいさつ>

じゃあ、どうしていけばいいの？

一人ひとりが、お互いに声をかけ合い、お互いさまの心でそれぞれにできることを活かした**支え合い・助け合い**が必要となってきます。今後、いつまでもみなべ町で元気に暮らし続けるために支え合いの仕組みづくりをみんなで考え、皆でつくるのがとても大切です。

「支え合いのしくみ」をみんなで考え、取り組んでいくことが「生活支援体制整備事業」です。



私たちが、地域支え合い推進員です！

私たち、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が、地域の支え合い・助け合いの活動のお手伝いをさせていただきます。身近で自然に行われている支え合いの活動（地域のお宝）について教えてください。



山下 恵里



橋本 季奈



土井 郁夫



山下 紗代



上野 信之



垣内 基文